

# 12月定例議会報告

12月定例議会が12月6日から9日の日程で開催されました。議会では一般質問、補正予算、条例改正などが審議されました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに一般質問を行いました。町の答弁、議決内容等をお知らせします。

## 子ども出生数激減、出生数増加対策を

急激に進む少子化、昨年4月～12月の出生人数は27人、きわめて深刻な事態です。そこで、出生数増加対策を強く求めました。そこで、出生数増加対策を強く求めました。

## 学童保育料引き下げを求める

担当課では、出生数減少の要因を20歳代、30歳代が転出等により減少していること、加えて婚姻率低下や女性が生涯に出生する子ども数が減少していることによるもので全国的な問題でもあるとしています。小鹿野町は、埼玉県ではトップクラスの子育て支援策を実施していますが、担当課では、対策としてこれまでの子育て支援策に加えて「居住し、働き、子どもを産み、育てる環境」を整える施策を全庁的に連携して着実に実施、継続していくとしています。

出浦議員は9月議会に引き続き学童保育料の軽減を求めました。皆野町の無料化、秩父市の月額4200円などを参考にして、小鹿野町でも引き下げられないか質しました。担当課では今後、検討するとしてあります。「家計が大変なので子どもふたりは学童に通わせられない。」などの声もあります。保育料引き下げは切実です。

## 【情報】 国は、「子ども医療費助成へのペナルティーを止めよ」の意見書で100万円

出浦議員は、小鹿野町の出生数低下は異常事態であり町を挙げて特別対策を行うこと、町内外の若者に小鹿野町の子育て支援策をアピールするパンフレット作製などを求めました。検討するとのことです。

9月議会で「国庫負担金減額調整措置の廃止を求める意見書」を可決し、関係先へ送付しました。全国からも同様の意見書、要望が多数寄せられたことにより国は一部を見直しました。その結果、小鹿野町分のペナルティー減額調整220万円のうち約100万円分がなくなるとのことです。その分、国保財政が助かることとなります。

## 子ども医療費無料化、18歳年次まで拡大実現に向け、条例改正案可決

出浦議員は、医療費無料化を18歳年次まで拡大するよう求め続けてきましたがついに実現することになりました。

執行部より18歳年次まで医療費無料化を拡大するために必要な条例改正案が提案され、全員賛成で可決されました。本年4月1日からの実施に向けて準備が進められています。

子育て中の皆さんから「助かります。」な

おがの民報 NO.28

日本共産党小鹿野町委員会

12月定例議会報告

2017年1月27日(金)

電話 79・0036

産業振興で仕事、働く場を

企業誘致活動について質問しました

若者流出の最大の原因は地域に働く場が減少していることです。そこで、町の企業誘致活動について質問しました。町では、空き工場等の情報発信、埼玉県、秩父市との情報交換を行って誘致活動を進めているとのこと。現在の社会状況では、企業誘致は困難な課題ですがぜひ努力してほしいものです。

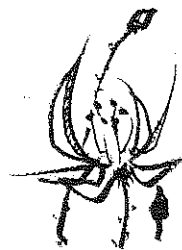
農業用ハウス倒壊防止の補強資材購入に補助を

昨年1月の降雪でもパイプハウス19棟が倒壊する被害が出ました。そこで生産者の負担を軽減するため倒壊防止の補助資材購入補助を求めました。

担当課では、大雪に備えてJAちちぶ等関係者と協力してパイプハウス補強講習会を開催、補強資材の購入補助については、現行の補助制度の中で援助できないか検討したいとのこと。農家が安心して生産に励めるように補助の実現を求めていきます。

「地域おこし協力隊」を小鹿野町にも派遣してもらったため、チラシを作成し募集

9月議会で出浦議員は、産業振興をさらに進めるため、「地域おこし協力隊」派遣要請を提案。担当課では、必要なことなので検討すると答弁しました。12月議会で進捗状況を尋ねましたが、29年度採用に向けて準備を進めており、募集用チラシを作成、採用人員は5名になる見込みとのこと。隊員は町内に住んで活動してもらうことになり。地域活性化のためにも応募してほしいものです。



農業補助金、「地域おこし協力隊」募集費用等を含む補正予算に賛成、

12月議会には、補正予算が提案されました。内容は、農業用補助金、「地域おこし協力隊」募集経費等を含み、いずれも必要な予算ですので賛成しました。

返還不要の「給付型奨学金」の創設、無利子奨学金の拡充、大学授業料の引き下げを求める意見書案を提案、可決

出浦議員は、山中豊彦議員、斎藤 維議員の賛同を得て標記意見書案を議会に提案しました。いくつかの質問があり討論が行われました。反対討論は、神田 武議員、公明党の高橋 聡議員が行いました。採決の結果賛成多数で可決されました。意見書は関係機関に送付されました。「給付型奨学金」創設を求める声は全国で強まっていて、国においても極めて不十分ながら創設に向け予算計上するとのこと。

町政アンケートへの「協力ありがとうございます」

昨年11月～12月に日本共産党小鹿野町委員会が、お願いしたアンケートにご協力いただき有難うございました。200人の方に応えていただきました。現在集計、分析中です。まとまりましたらご報告いたしますのでよろしく願いいたします。

日本共産党 出浦正夫町議

議会報告会のお知らせ

日時：2月1日(水)

午後 6時 30分～

会場：小鹿野

文化センター 2階

研修室 1・2

「おがの民報」では報告しきれない議会の動き、町政の課題を報告します。

また、この町が直面する少子化、地域産業、仕事、働く場の確保などを考えます。

皆さんどうぞご参加ください。